

# おしゃべりひろば ～世代を越えた交流の場～

25班

北川美佑 小澤彩葉 中山杏香 橋本和花 丹  
後真緒 中田聡音 三柳凜乃

# 背景(取り組むきっかけ)

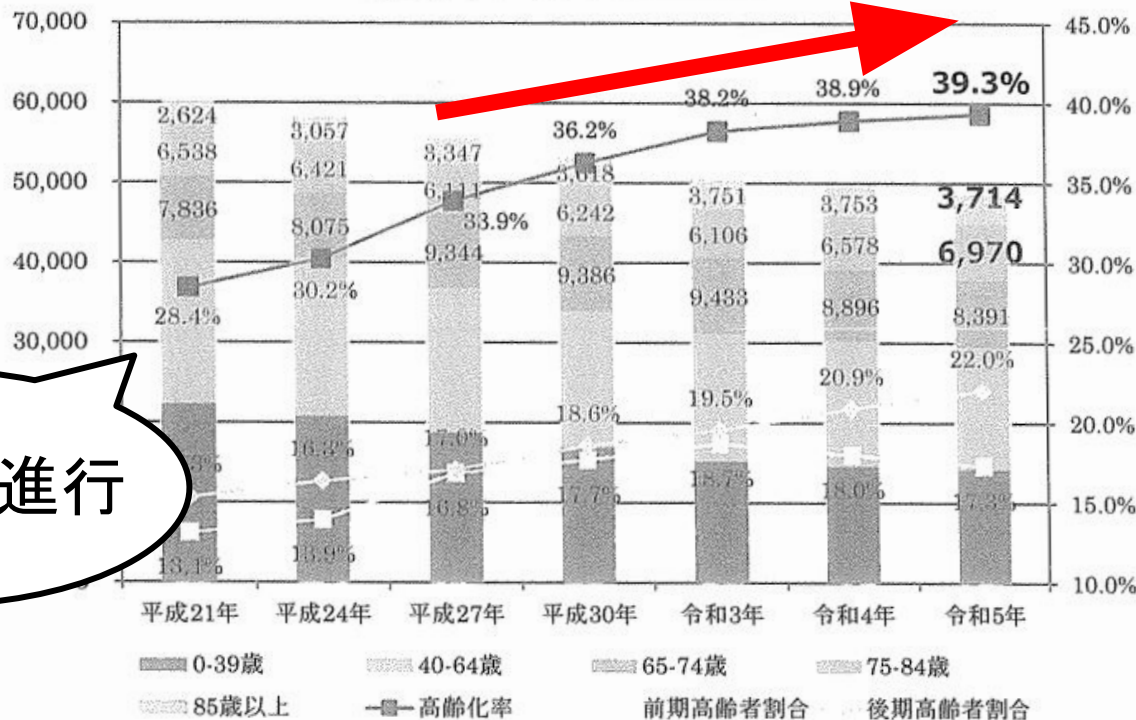
- ・独居老人、介護が必要な人
- ・学校に通うことが困難な子ども
- ・その他様々な理由で孤立している人



このような人達を支援したい  
交流の場を作りたい

# 現状

年齢別人口（各年9月末現在）



高齢化の進行

図1 年齢別人口（七尾市老人福祉計画・第9期介護保険事業計画より抜粋）

# 現状

【世帯数（各年10月1日現在）】

年度	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	令和2年
総世帯数	21,066	20,855	20,855	20,855	20,328
65歳以上高齢者のいる世帯	9,967	10,855	10,855	11,065	11,737
ひとり暮らし高齢者世帯	1,615	1,999	2,205	2,638	2,930
高齢夫婦のみ世帯	1,939	2,269	2,515	2,357	2,796
65歳以上高齢者数	15,090	16,423	17,118	18,940	19,370
65歳以上高齢者のいる世帯比率	47.3%	49.4%	51.7%	55.9%	57.7%
ひとり暮らし世帯比率	7.7%	9.3%	10.5%	12.6%	14.4%
高齢夫婦のみ世帯比率	9.2%	10.6%	12.0%	11.3%	13.8%

一人暮らし高齢者世帯  
平成12年 1615 → 令和2年 2930  
増加傾向にある！

※資料：国勢調査（平成12～令和2年）

図2 高齢者を含む世帯の種類別割合（七尾市老人福祉計画・第9期介護保険事業計画より抜粋）

# 現状

## ・高齢者の孤立

→孤立死

例：輪島市の仮設住宅で70代の女性が孤立死

防止策：見守り、**交流**

## ・子どもの孤立

→人への信頼感の低下、物事や将来への挑戦力、興味の低下

防止策：リラックスし、**交流を深められる場所** の提供

**→孤立問題の解決には、交流の場が必要 !!**

# 提案

## ○コミュニティカフェの設置

- ・労働訓練の場
- ・地元民同士の交流
- ・心の拠り所

輪島市：輪島KABULET

## ○店内スペースを利用した イベント・講座

- ・スタッフとの交流
- ・気軽な学びや体験の場

輪島市：農産物の収穫体験



図3 輪島KABULET

<https://wajima-kabulet.jp/>



図4 白米千枚田

<https://www.chunichi.co.jp/article/501453>

# 取り組み1

株式会社おやゆびカンパニー様へ聞き取り調査

<回答結果>

## ◆孤立の現状

夫婦のどちらかが  
先に亡くなられた方、  
特に男性の交流が減少

## ◆コミュニティカフェ設置の きっかけ

集会所が無い温井町に  
地域住民が寄り会える  
場所がほしい

地域の人



# 取り組み1

## ◆多世代交流

- ・色々な人が集まる⇒場をまわす人が話しやすさを生む

## ◆メリット

- ・認知症の予防
- ・文化継承
- ・災害時の安否確認や助け合いの促進

## ◆設置における難点

- ・多世代対応の飲食スペース(世代別に配慮)

# 取り組み2

## アンケート

対象: 七尾高校3年生(回答者114人)

1. コミュニティカフェに  
行ったことがあるか

**ある 5.3%**

**なし 94.7%**

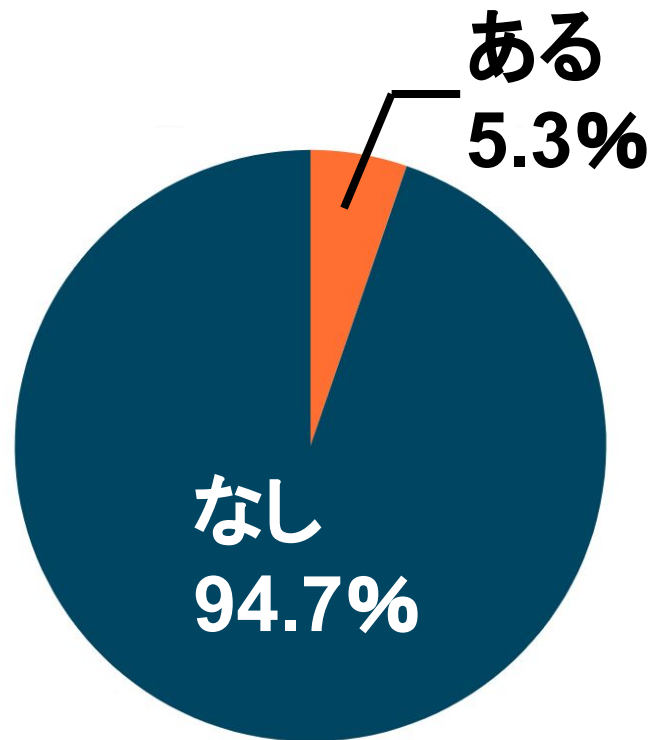


図5 質問1の回答結果

# 取り組み2

## 2. どんな体験がしたいか

- ・ゲーム大会
- ・クイズ大会
- ・カラオケ大会
- ・お茶会
- ・読書会、朗読会
- ・料理教室、お菓子作り
- ・アート、工作系
- ・交流、おしゃべり



# 取り組み3

特定非営利活動法人

ひなたぼっこ 様へ訪問

＜活動内容＞

- ・レクリエーション
- ・職員の方にインタビュー
- ・利用者の方にインタビュー



# 取り組み3

## ◆スタッフの方への質問

### 1. 子どもと関わった際の高齢者の様子や反応

- ・表情がにこやかにになり、いきいきとしている
- ・意欲がでてくる

### 2. 高齢者の方々を楽しませる工夫

- ・明るく元気に！リアクション大きく！

# 取り組み3

## 3. 世代間交流で、双方が楽しめるための工夫や配慮

- ・分かり易い内容で
- ・お互いの良さを引き出す

## 4. その他

- ・寂しさから鬱になり、そこから認知症になる  
→ 予防のために交流が大切
- ・不登校、特別支援が必要な子どもが増加

# 取り組み3

## ◆利用者の方への質問

1. 今の生活で困っていることや不安に感じていること

- ・店が減って交流できない
- ・家族との関わりが少ない

2. 施設に来て良かったこと

- ・人がたくさんいて交流でき、楽しい

# 取り組み3

## 3. 普段子どもや若者と交流しているか

- ・遊ぶことがある
- ・身近にいない、会わない

## 4. 若者と一緒にしたいこと

- ・運動
- ・話が合わないだろうから、同世代の方がいい

# 気づいたこと・考えたこと

- ・活動を通じて、お互いの笑顔が自然と増えていった
- ・利用者の方から、同世代では得られない学びを得た
- ・誰もが楽しく話せる、自然な雰囲気づくりが大切
- ・職員の方の話から、交流の場の重要性を再認識
- ・社会の現状を踏まえ、今後の交流の場のあり方を考える必要性

# 参考文献

- ・子どもの孤立とは—NPO法人PIECES  
<https://www.pieces.tokyo/issue>
- ・第9期七尾市介護保険事業計画  
<https://www.city.nanao.lg.jp/kourei/kurashi/kenko/kekaku/fukushi/documents/attakapuran2.pdf>